

報道機関各位

熊本大学

平成30年度第2回生命倫理研究会/公開セミナー

Empirically-informed medical virtue from the inside out and back again

-実践に基づいて医療の徳を修正する-

この度、生命倫理研究会では、外部の識者をお招きして公開セミナーを開催いたします。今回の講師は、オーストラリア、モナシュ大学生命倫理センター副所長のジャスティン・オークリー先生です。

オークリー先生は、徳倫理を専門に研究されており、その研究テーマはプロフェッショナル・インテグリティ、内部告発、臨床実践と研究における利益相反、生殖倫理、公共政策など多岐にわたっています。今回、“Empirically-informed medical virtue from the inside out and back again-実践に基づいて医療の徳を修正する-”と題して医療実践における倫理学とその活用についてご講演いただきます。

多くの方のご参加を賜りたく、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

※生命倫理研究会とは、人社系と生命系の研究者が同じテーマで研究討議を行う、大変ユニークな研究会です。

記

【日時】平成30年11月29日（木）17:00～19:00

【場所】熊本大学黒髪北N1(文法学部本館) 2F 共用会議室
(熊本市中央区黒髪2丁目40番1号 黒髪北キャンパス内)

【対象】一般の方（興味がある方はどなたでも）、学生、研究者等

*講演は英語になりますが、配布資料には日本語訳を付し、意見交換では通訳が入ります。

【参加費】無料

【申込方法】事前申込みは原則不要ですが、可能な方は、11月28日（水）までに、ご所属、お名前、住所、電話番号を下記問合せ先までお知らせください。

※詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

【問合せ先】

熊本大学大学院先導機構UR A推進室

TEL : 096-342-3148

Mail: research-coordinator@jimu.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学生命倫理研究会 平成30年度第2回公開セミナー

Empirically-informed medical virtue from the inside out and back again

－実践に基づいて医療の徳を修正する

講師

Justin Oakley

Ph.D, Associate Professor
Monash Bioethics Centre, Monash University

オーガナイザー

佐藤 岳詩

熊本大学大学院人文社会科学研究所

11/29 Thr
17:00-19:00

入場
無料

講演：40分 意見交換：70分

医師や看護師を始めとした医療専門職はどのような態度で患者と接するべきか。親のように？友人のように？それとも純粋にサービス提供者として？この問題は医学の誕生以来、長らく議論的になってきました。その中で近年、医療従事者の性格・特性に焦点を合わせる「徳倫理学」によるアプローチが注目を浴びています。

そこで今回は徳倫理学と医療専門職を結びつけた研究の第一人者である、モナシュ大学のジャスティン・オークリー先生にご講演いただきます。本講演では、理論と実践、政策を相互に結びつけて考えることの重要性を中心とした徳と医療の関係について、さまざまな観点から意見交換、議論を行う予定です。

多くの方のご参加をお待ちしております。

日本語
OK!

講演は英語になりますが、配布資料には日本語訳を付し、意見交換では通訳が入ります。

問合せ
熊本大学大学院先導機構 U R A 推進室
TEL : 096-342-3148
Mail: research-coordinator@jimmu.kumamoto-u.ac.jp

Abortion
Dignity
Conflict
Enhancement
Public health
Surrogate Mother
Nursing
iPS cells
Disaster

熊本大学
生命倫理研究会

